

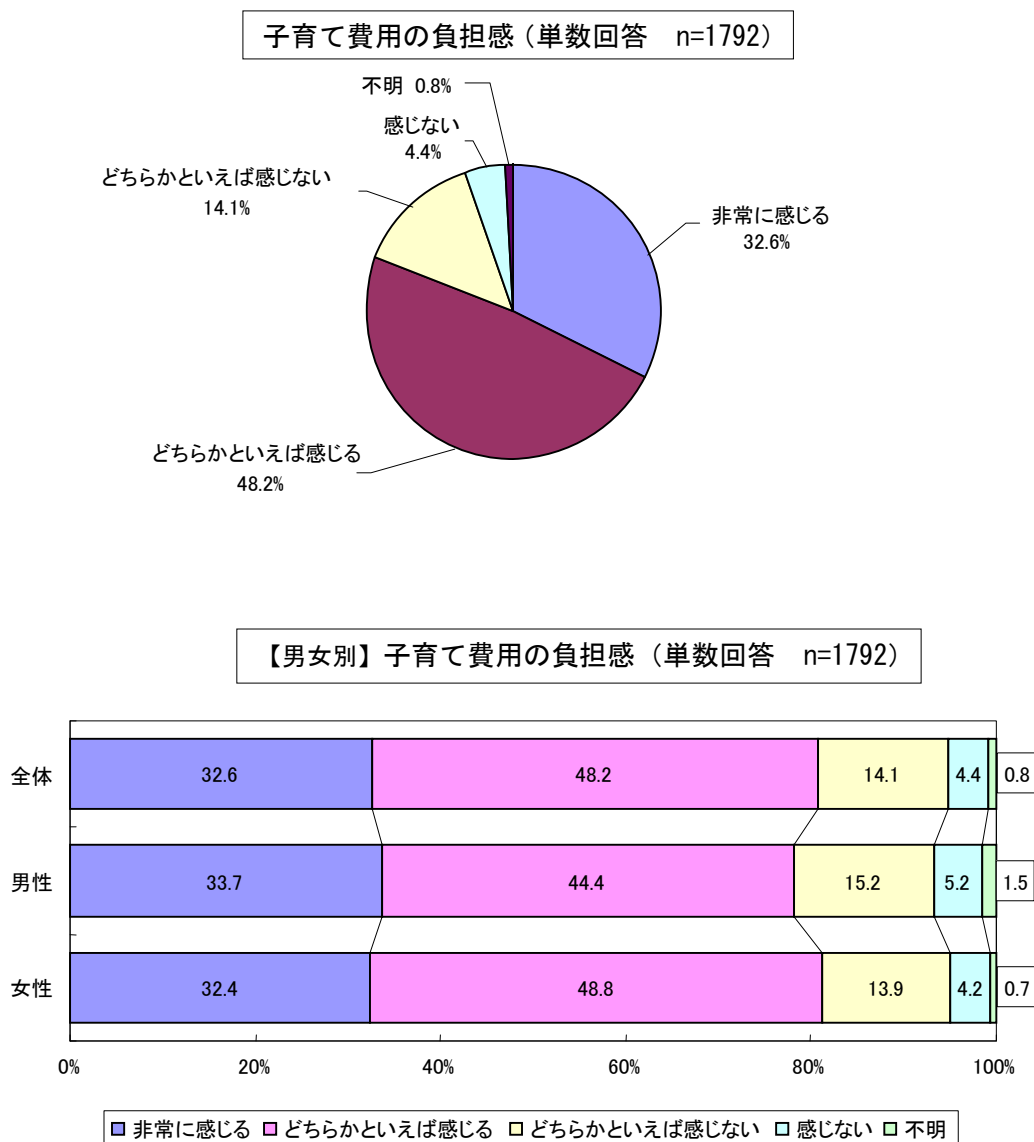
5. 子育ての費用

(1) 子育て費用の負担感

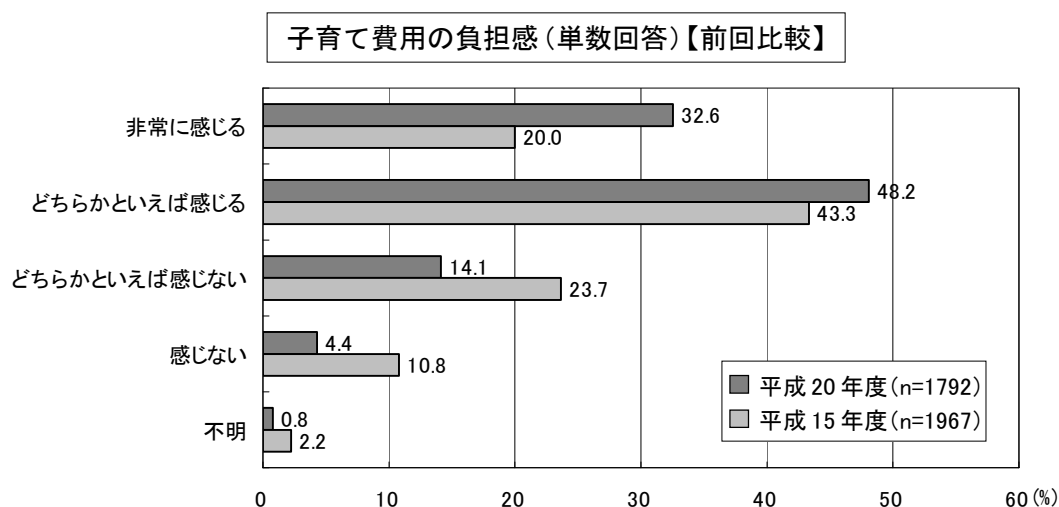
「非常に感じる」の 32.6%と「どちらかといえば感じる」の 48.2%を合わせると 80.8%となり、約 8 割が子育て費用を負担に感じている。

「感じない」は 4.4%、「どちらかといえば感じない」は 14.1%となっており、合わせて 18.5%である。

男女別では、小学校入学前児童の保護者ほど顕著ではないが（59 ページ参照）、男性の方が女性よりも「非常に感じる」、「どちらかといえば感じる」、「感じない」の割合が多くなっている。



前回調査と比較すると、「非常に感じる」が 20.0%から 32.6%と 12.6 ポイント、「どちらかといえば感じる」が 43.3%から 48.2%と 4.9 ポイント、合わせて 17.5 ポイント増加している。小学校入学前児童の保護者の 13.2 ポイントの増加より多くなっている。

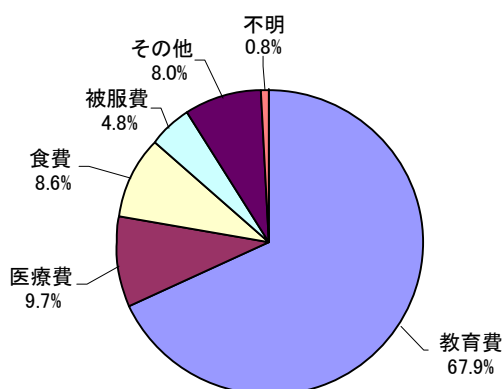


●子育ての費用を負担に感じる項目

子育て費用を負担に「非常に感じる」、「どちらかといえば感じる」とした人(1447 人、80.8%)に、負担を感じる項目を質問した。

「教育費」が 67.9%と最も多い。次いで、「医療費」が 9.7%、「食費」が 8.6%、「被服費」が 4.8%の順となった。

子育て費用で負担に感じる項目(単数回答 n=1447)

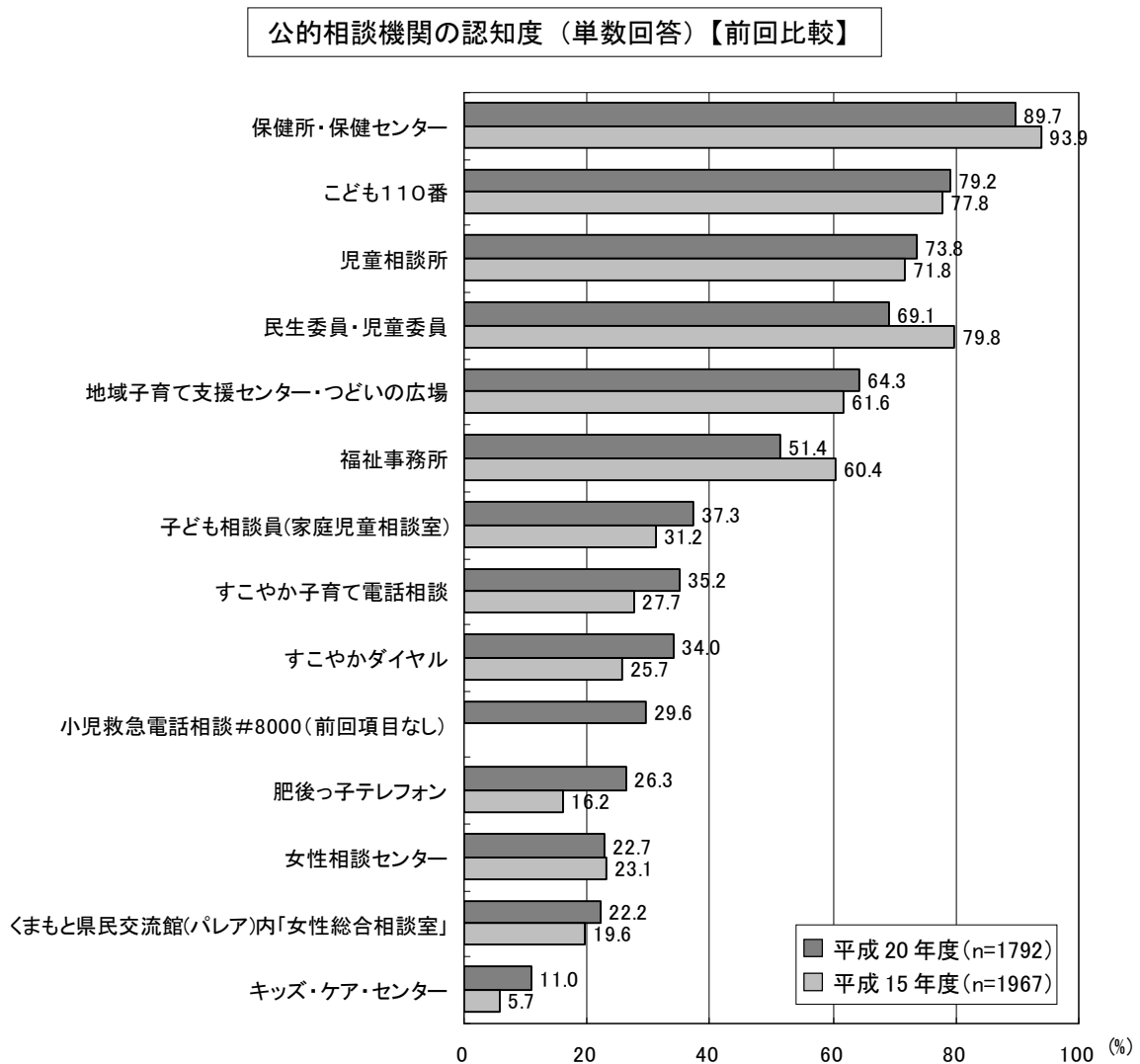


6. 公的相談機関や関係法令等の認知度

(1) 公的相談機関の認知度

「保健所・保健センター」、「こども 110 番」、「児童相談所」などの認知度は高い。一方で、認知度が2割程度の機関もみられる。

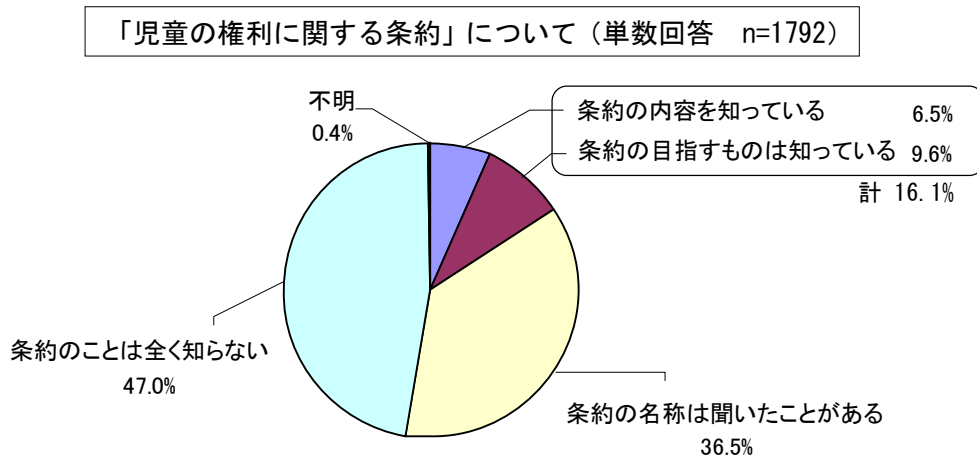
前回調査と比べると、「保健所・保健センター」や、「民生委員・児童委員」、「福祉事務所」、「女性相談センター」の認知度が低くなっているが、それ以外の認知度は高くなっている。



(2) 関係法令等の認知度

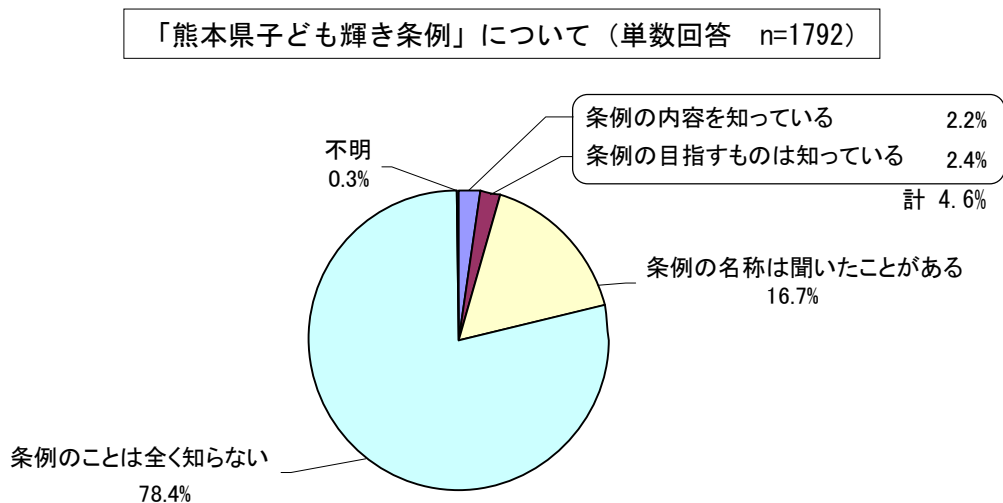
●「児童の権利に関する条約」について

「児童の権利に関する条約」については、「条約の内容を知っている」が 6.5%、「条約の目指すものは知っている」が 9.6%で、合わせて 16.1%となった。



●「熊本県子ども輝き条例」について

「熊本県子ども輝き条例」については、「条例の内容を知っている」が 2.2%、「条例の目指すものは知っている」が 2.4%で、合わせて 4.6%となった。



●「くまもと家庭教育 10 か条」について

「くまもと家庭教育 10 か条」については、「10 か条の内容を知っている」が 13.1%、「10 か条の目指すものは知っている」が 7.2%で、合わせて 20.3%となった。

「くまもと家庭教育 10 か条」について（単数回答 n=1792）

